

※一部画像をクリックすると該当ページへ接続されます。

東北学院大学図書館  
利用説明動画のご案内

図書館では、例年図書館活用ガイダンスを行い、図書館の利用方法の説明や館内ツアーを行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止のため、座席・人数の制限など、規模を縮小して実施しております。

直接図書館に来館することが難しい方や、図書館利用方法の復習に役立てていただくため、図書館で実施している各種ガイダンスの内容を、ウェブ上で提供しています。授業内での使用や授業外学習への利用など、様々にご活用ください。

## 1. まずは図書館ホームページをチェック



※ホームページ下段のコンテンツからもアクセスできます。

### Contents

図書館の各種コンテンツです



## 2. 利用説明動画を選択

中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館それぞれの館オリジナルの動画を配信しています。

※Wi-Fi 等へ接続せずスマートフォン等から視聴する場合には、データ容量にご注意ください。



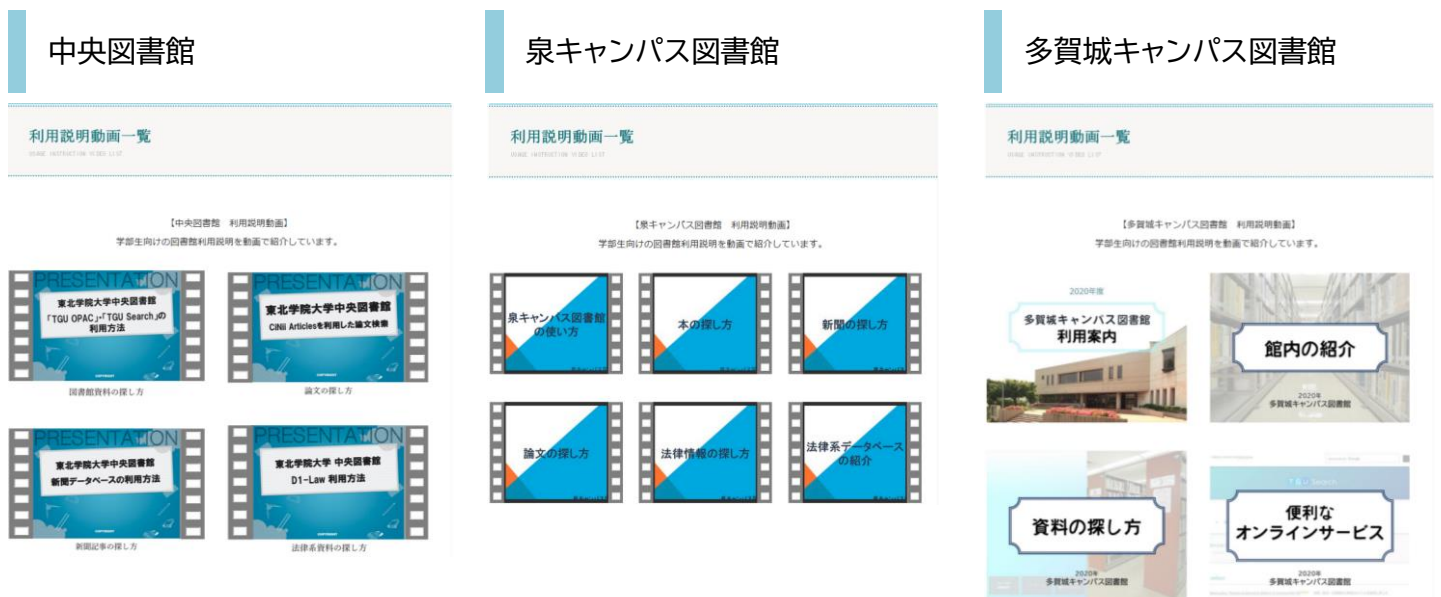
※泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館も同じ位置にあります。

## 3. 利用説明動画一覧

図書館活用ガイドンスで実施している内容を、短時間でわかりやすく説明しています。

「本の探し方」、「論文の探し方」、「データベースの使い方」など図書館の基本をテーマごとに学べます。

動画一覧から興味のあるテーマを選んで、授業の課題やレポート作成の参考にしてみてください。



1. 図書館資料の探し方
2. 論文の探し方
3. 新聞記事の探し方
4. 法律系資料の探し方

の4本立てです。

動画1本あたり、  
約10分～20分です。

1. 図書館の使い方
2. 本の探し方
3. 新聞の探し方
4. 論文の探し方
5. 法律情報の探し方
6. 法律系データベースの紹介

の6本立てです。

動画1本あたり、  
約2分～6分です。

1. 図書館の使い方
2. 館内紹介
3. 資料の探し方
4. 便利なオンラインサービス

の4本立てです。

動画1本あたり、  
約2分～6分です。

# 開館時間・貸出について

## ■図書館開館時間

	中央図書館	中央図書館 分室	泉キャンパス 図書館	多賀城キャンパス 図書館
集中講義 1/4(月)～7(木)	9:00～19:30	10:00～18:00	9:00～18:00	
大学入学共通テスト準備 1/15(金)		休館	8:30～20:00	
大学入学共通テスト 1/16(土)				
学部春休み期間 1/30(土)～3/31(水)	9:00～19:30	10:00～18:00 (土曜日は休館)	9:00～17:00	
前期日程入試 2/1(月)～3(水)	14:30～19:30	14:30～18:00		
後期日程入試 3/3(水)	13:00～19:30	13:00～18:00		

※大学全休のため、2020年12月29日(火)～2021年1月3日(日)は休館いたします。

※やむを得ない理由により、日程が変更になる場合があります。その場合は都度、お知らせいたします。

※利用対象は学内関係者のみとし、学外者(一般、同窓生、退職者、中高生)は、引き続き利用停止とします。

※学内感染防止対策の徹底(マスク着用義務化・入構時の検温・手指の消毒等)にご協力願います。

なお、利用者が多数になった場合などには入館をお断りすることがあります。

## ■学部学生の図書の貸出

貸出期間	返却期限日
12月9日(水)～1月15日(金)	1月15日(金)
1月27日(水)～3月31日(水)	4月15日(木)

## ■試験に伴う図書館利用サービスの変更

	相互・予約受付停止	図書貸出停止	返却期限日
学部学生	1月8日(金)～1月26日(火)	1月16日(土)～1月26日(火)	1月15日(金)
大学院生	カウンターでお申込みください (学習図書*は除く)	学習図書*のみ貸出停止	
教職員			

\*学習図書...黄色いラベルが貼ってある学部学生向けの図書

## ■休日開館 ※中央図書館分室は閉館

開館日 1月10日(日)・11日(月・祝)・17日(日)・24日(日)

開館時間(全日) 12:30～19:30

# 先生の本棚

本学教員に、オススメの1冊を紹介していただきました。  
図書館で借りることもできますので、ぜひご一読ください。

文学部・総合人文学科

## 『存在と時間』

田島 卓 先生

マルティン・ハイデガー著

(中央・泉・多賀城キャンパス図書館所蔵)

※書影は、高田珠樹訳 作品社、2013年出版

人はみないつか死ぬ。だが、少なくともそれは明日、この私に降りかかる出来事ではない。人間だれしもこのような忘却に基づいて日々を過ごすからこそ、日常という現象が可能になっていると思われるふしがありますが、実は日常の至る所に存在する裂け目を糊塗するさまざまな忘却をハイデガーは暴き出し、問いをぶつけてきます。『存在と時間』は極めて抽象的なタイトルではありますが、「人が生きる」という事実を突き詰めてみると、見えてくる根源的なものであるわけです。



経営学部・経営学科

## 『イノベーションのジレンマ：技術革新が巨大企業を滅ぼすとき 増補改訂版』

秋池 篤 先生

クレイトン・クリステンセン著、伊豆原弓訳 翔泳社、2001

(中央・中央分室・泉・多賀城キャンパス図書館所蔵)

なぜイノベーションを追求しているはずの既存の大企業が新規企業に敗れ去ってしまうのか。著者であるクリステンセン氏は本著『イノベーションのジレンマ 増補改訂版』においてハード・ディスク・ドライブ業界などの事例を分析し、その背後に大企業のジレンマがあることを指摘しています(その詳細なメカニズムは実際に読んでみてください)。その結論は興味深く、学生時代に読んで感銘を受けた本の1つです。文章も一般の人向けにわかりやすく記述されていますので、多くの学生の皆さんに読んで頂ければと思います。



工学部・電気電子工学科

## 『遥かなるケンブリッジ：一数学者のイギリス』

佐々木 義卓 先生

藤原正彦著 新潮社、1991

(多賀城キャンパス図書館所蔵)

数学者である著者がケンブリッジに長期滞在したときの体験をまとめた本です。私は博士過程時に先輩に紹介されて読みましたが、ケンブリッジの様子を知ることができたり有名な数学者が登場したりして、とても楽しく読んだことを覚えています。ケンブリッジでの研究の話だけでなく、英国の文化や日常生活など、滞在中に起こった様々な出来事が紹介されているので、数学に興味があるかどうかに関係なく、文系の人にも楽しんでもらえる本だと思います。



教養学部・人間科学科

## 『ブルマーの謎：〈女子の身体〉と戦後日本』

片瀬 一男 先生

山本雄二著 青弓社、2016

(泉キャンパス図書館所蔵)

大学図書館の地下書庫には、雑誌のバックナンバーがある。著者はここで謎解きをする。ブルマーは1960年代後半から広まり、70年後半に突然、消滅した。この「謎」を解くため、学校で聞き取りをしたが埒があかない。そこで大学図書館の地下書庫に入り、ついに1968年の『女子体育』に載った「お願い文」をみつける。それは、女子体育大会の資金難のために特定の体操着を「学校指定」としてほしいというお願い文であった。50年を経て明かされる中体連と業者の癒着、女子体育教育の闇・・・

